

# 施工協力会員（流通） 規約書

橋端改良技術協会(以下甲という。 )と、 \_\_\_\_\_(以下乙という。 )

は、下記の事項に本日合意し、規約書（以下規約という。 ）を締結し、業務提携する。

## 第1条 （目 的）

本規約は、甲の活動主旨に賛同し且つ甲の活動地方内において連携し、甲の斡旋により乙の有する橋梁改良工事に関する資・機材を協会会員に提供する事を目的とする。

## 第2条 （資 格）

橋梁関連の資・機材流通を営み、橋梁改良工事に製品納入実績のある法人企業。

2．活動範囲は、甲の定める地方区分とする。

3．1名以上の有資格者又は担当者(実務経験者)を選任する。

## 第3条 （権利及び義務）

活動地方内において、甲の斡旋により、乙の有する資・機材をもって協会会員からの受注ができる。

活動地方；東北地方一円

2．橋端改良技術協会に登録する。

3．受注実績により、利用料金を甲に納入する。

## 第4条 （提携解除）

甲は乙が以下の各号に該当したときは、催告なくして本規約を解除し、これによって被った損害賠償を請求できるものとする。提携の解除とは第3条の権利を失効し、登録を抹消する。

1．規約に違反した場合、若しくは著しい背信行為があったとき。

2．破産、和議、特別清算、会社整理・再生・更正等の法的手続きが執られたとき。

#### 第 5 条 （提携期間）

本規約は、平成 年 月 日より 2 年間効力を有するものとする。但し第 4 条に抵触しない限り、又は甲乙いずれかから相手に対し、期間満了 3 ヶ月前迄に提携終了の書面（登録取消し・提携解除通知書）による通知にて双方合意をしたとき以外は、自動的に 2 年間延長されるものとし、以後も同様とする。

#### 第 6 条 （提携終了）

第 4 条及び第 5 条により提携終了したとき、すべての権利義務が自然消滅することではなく、甲・乙双方に業務上に関連した残務が存在するとき、誠意をもって、その整理と解決を履行する義務がある。

#### 第 7 条 （譲渡禁止）

甲及び乙は、本規約により発生する双方のすべての権利及び情報を、甲又は乙の文書による承諾がない限り、他へ譲渡及び担保に供することは出来ない。

#### 第 8 条 （意思表示）

甲及び乙は、本規約の重要な事項に関して、相手方に意志の表示をするときは、すべて文書にて行うこととする。

#### 第 9 条 （合意管轄）

甲及び乙は、本規約に関して、万一紛争が生じたときは、甲の所在地を管轄する地方裁判所を専属管轄裁判所とする。

#### 第 10 条 （協 議）

本規約に定めのない事項、若しくは本規約の解釈について疑義が生じたときには、その都度甲、乙の誠意ある協議にてこれを定める。

以 上

上記規約の締結を帰するため、本規約書 2 部を作成し、甲乙それぞれ署名と捺印の上、  
各 1 部を保管する。

規約 No \_\_\_\_\_

平成 年 月 日

( 甲 )

住 所 〒981 - 3117

仙台市泉区市名坂字野蔵 19 番地の 3

橋端改良技術協会

氏 名 会長

印

( 乙 )

住 所

氏 名

印